

ほけんだより 9月



平成29年9月1日

青梅みどり第二保育園

朝夕、セミの声が虫の声にかわってきました。8月は天気が悪く、プール遊びが中止になる日が多くて残念でしたね。やはり手足口病が流行しました。特に乳児クラスは、ほとんどの子が罹ってしまいました。赤いポツポツだけで済んだ子、高熱が出た子、ご飯が食べられなかった子と様々ですが、一度罹ったからと油断は禁物。予防薬がないため何回も罹ることがあります。そして、治った後もしばらく便などからウイルスが排出されます。ご家庭でも手洗いをしっかり行うようにしましょう。

事故に注意！

9月の保健行事

5日(火) 乳児体測

6日(水) 乳児健診

12日(火) 幼児体測

思わずドキッとしたことはありませんか？大人が思っている以上に子どもの事故はたくさん起きています。成長段階で気をつけてほしいことをあげてみました。

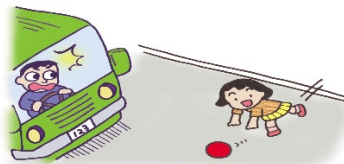


<ハイハイからつかまり立ち>

自分で移動できるようになり、指で小さなものをつかめるようになるこの時期に多い事故は誤飲や誤嚥です。たばこやピーナッツなど、小さな子どもにとってはとても危険です。子どもの見える範囲や、手の届く範囲は成長とともに広がっていきます。子どもの体の大きさや目線を意識して危険なものを子どもの手の届くところに置かないことが重要です。

<つたい歩きから一人歩き>

この時期の特徴として、バランスを崩して転びやすい、一人で歩けるようになる、好奇心が旺盛であるため居間・浴室・台所・階段などあらゆる場所で事故は起きています。思いもよらないものに興味を持つため、子どもが遊んでいるときにどのような行動をとるのか、見守りながら危険なものを探していくことも大切です。



<走ったり飛び跳ねたりする時期>

圧倒的に交通事故が多くなります。

外遊びが増えるのと、夢中になるとほかに注意が向きにくいからです。子どもの目の高さは大人より低いため、子どもの視界の狭さを意識しておくことが大切です。

急な病気やケガをしたとき、「救急車を呼んだ方がいいのかな」「今すぐ病院に行った方がいいのかな」など迷ったことはありませんか？こんな時は

#7119で相談してみましょう。つながらない

ときは多摩地区 042-521-2323 へ

